

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和 6 年度報告書

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター



はじめに



東京女子医科大学 解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授
同 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長
本多 祥子

令和3年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）に選定され、6年間の事業期間は早くもラストスパートに入りました。関係各所の皆様に多大なご協力をいただきながら「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」を全学体制で推進し、所期の計画を超える様々な取組みを進めることができいております。大変有り難く、皆様に篤く感謝申し上げます。

この事業は、本学の学祖吉岡彌生先生をはじめ偉大な諸先輩方の弛まぬ努力、さらに本学が120年以上にわたり培ってきた女性医療人活躍推進の精神的基盤があつてこそ成り立つものと考えております。この貴重な背景を十分に活かし、将来グローバルヘルスリーダーとして国際社会と連携し社会問題解決を目指す「彌生人（やよいびと）」を育てるための苗床として、本学は日本に唯一の女子医科大学としての重要な役割を担っていくことになります。「Your Attention to Your Own Innovation！」のスローガンを胸に、「YAYOI プロジェクト」に関わるひとりひとりが自身をイノベート（＝常に自分自身を変え成長させていくこと）する端緒を切り開くことを強く祈念しております。

本「YAYOI プロジェクト」では、様々な職種に従事する女性研究者の「研究意欲」を後押ししております。もし今、「やりたい研究があるけれど、業務やライフイベント（育児・介護など）の忙しさに押しつぶされて、このままでは研究への熱意が薄れてしまう」と不安に感じている方がいらっしゃいましたら、是非「YAYOI プロジェクト」の各種支援内容をご覧ください。そして少しでもお役に立てそうな事業がありましたら、どんどんお問い合わせいただきご活用ください。この「YAYOI プロジェクト」は、様々な分野で活躍する個々の女性研究者の皆様にスポットライトを当てることで、単なるキャリア形成だけでなくロールモデルとしての人格的成長もお手伝いしていると自負しております。例として様々な研究支援を受けた本学女性研究者のインタビューと成果報告動画を広く公開し、現役の女性准教授、講師、PI（研究室主宰者）などによる「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」、メンターの指導により女性研究者のメンティが業績を挙げたペアを表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」で、優れた研究指導者の発掘も行っております。現役女性医師・研究者の育児・介護を支える男性医師・研究者を対象とした研究支援員制度、本学教職員どなたでもご利用いただけるファミリーサポート「ちょこっと介護見守り支援」も構築いたしました。これらの事業は、本当に支援を必要とする方に届かなければ意味がありません。この機会に、ご自身の「やりたいこと」そして「いまの環境」にちょっと思いを巡らせてみてはいかがでしょうか？

本学ならではの「YAYOI プロジェクト」がスムーズに定着し、さらに全国の大学・研究機関などへも良い形で影響を与えることができれば望外の喜びです。

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター センター長
大澤 眞木子

学校法人東京女子医科大学は、学祖吉岡彌生先生により女子の医育機関として明治 33(1900)年に設立され、本年 125 周年を迎えます。創立以来、「女性の社会的・経済的自立」を目指し、社会貢献のできる専門職である女性医師・看護師を育成して参りました。本学の使命は学祖の理念である「至誠と愛」(きわめて誠実であること、慈しむ心(愛))の実践を根幹とし、「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し、社会に活躍する女性医人を育成する」。すなわち、「生涯に亘り最良の医療を実践する知識・技能を修め、温かい心を持った人間性、社会に貢献する活動力、国際感覚を持つ女性医療人の育成」であります。

本学は文部科学省平成 28 年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、①上位職への積極登用、②研究力向上・リーダー育成、③ダイバーシティ研究環境整備を中心に行って参りました。

令和 3(2021)年度には、より高い目標を掲げた文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の取り組みを開始致しました。『YAYO プロジェクト』の“YAYOI”は“Your Attention to Your Own Innovation!”であり、本学の学祖吉岡彌生先生のお名前を冠したものです。先端型の選定にあたりましては、平成 28(2016)年度より行ってまいりました特色型の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととされました。本年度も YAYOI プロジェクトで①架け橋研究、②国際共同研究、③AI 研究等、理事長・学長の強いリーダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターを中心に全学で精力的に取り組んできました。様々な取り組みの成果を報告書にできたことを大変嬉しく思います。本事業をさらに推し進めて、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。



東京女子医科大学 臨床検査科 特任教授
同 女性医療人キャリア形成センター 副センター長
佐藤 麻子

令和3(2021)年度より6年の事業期間で開始された文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」は早くも終盤戦に突入しました。「特色型」における3つの柱、「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」を充実・発展させること、本学ならびに学外への波及効果となることを使命として、大澤眞木子センター長の下、本多祥子室長の牽引力、事務局の支援で本事業が展開されています。

「研究力向上・リーダー育成」では3つの先端的取組「架け橋研究」、「国際共同研究」、「AI研究」を支援してきましたが、令和6(2024)年度より領域を限定しない「グローバル架け橋研究」を支援しています。多くの女性研究者の応募をいただき、厳正な書類審査とWEB面接が行われ、令和6(2024)年度は4つの研究が採択されました。採択された女性研究者らは、着実に成果を挙げています。その他、「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」等の支援は継続されており、女性の「教授30%、准教授35%、講師40%」の目標を達成すべくサポートを行っています。

育児・介護等に対するセーフティネットを充実させ、研究環境の整備を行い、「至誠と愛」の理念の下にリーダーシップを持って国際的に活躍する女性を育成する本プロジェクトは、まさに本学の建学の精神「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」の具現・実践であります。

令和6(2024)年度全国の医学部入学者における女子の割合は約40%となりました。日本の女性医師数は年々増加し、医学界において女性医師は欠かせない人材となりました。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」を通して、本学の多様な人材が能力を発揮し、活躍し続けることが、日本の女性医師・研究リーダーの育成につながることを願っております。

目次

はじめに.....	1
ごあいさつ.....	2
I 事業概要.....	5
目標.....	5
本事業のための体制整備.....	6
実施概要.....	7
取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載）... 10	
令和 6(2024)年度活動年表.....	11
II 事業報告① - 上位職への積極登用 -	14
女性教授割合の拡大状況.....	14
女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進.....	14
学長指名推薦による女性教授登用.....	17
オープンイノベーション講演会・交流会の実施.....	17
● 上位職への積極登用の取組 フライヤー.....	18
III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -	20
本学の研究力向上状況.....	20
基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援.....	21
バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化.....	22
保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築.....	26
科研費申請支援.....	27
● 研究力向上とリーダー育成の取組 フライヤー.....	28
IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -	29
本学の研究環境整備状況.....	29
学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備.....	29
実践的介護支援体制の構築.....	30
研究支援員制度における対象者範囲の拡大.....	32
● ダイバーシティ研究環境整備 フライヤー.....	33
＜お問い合わせ先一覧＞.....	37

本報告書に記載されている所属・職位は実施当時のものです。

I 事業概要

目標

本学は、明治 33(1900)年に女性医療人（医師・看護師）育成と自立の精神に基づき設立された国内唯一の女子医科大学として、これまで様々な取組を行ってきました。平成 18(2006)年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、病児保育と短時間勤務制度の創設によって優れた女性研究者の研究継続支援を実施しました。事業終了後も、男女共同参画推進局（現在の女性医療人キャリア形成センター）を設置し、院内保育所に加え本学独自のファミリーサポートシステムによるきめ細やかな育児支援、また短時間勤務制度を育児期のみならず自己研鑽にも活用できる制度として創設し勤務環境改善に努めてまいりました。しかしその一方で平成 27(2015)年時点の本学女性教授比率は 124 名中 25 名（20%）と少なく、キャリアを積んだ女性研究者が上位職で十分に活躍できる大学となるためには、さらに全学的な支援体制と強力な取組が必須と考えられました。そこで平成 28(2016)年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、女性医療人キャリア形成センターに新設したダイバーシティ環境整備事業推進室が中心となり、女性教授比率を 30%に引き上げるための女性上位職登用支援、女性研究者のための研究環境整備、女性教職員数の多い部署での勤務環境改善を実施し、令和 2(2020)年 7 月には特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。

そして令和 3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』を発足しました。6 年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」のフレームに先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標としています。

- ・女性在職比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- ・新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- ・女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- ・介護支援の充実をはかる

わが国唯一の女子医科大学として女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人に対し発展的な研究継続を支援し、グローバルヘルスリーダーへの強いモチベーションを持つ女性人材（「彌生人（やよいびと）」と呼称）を育成することで、医学研究・医療への貢献を実現するとともに、将来有望な女性医療人の上位職登用のチャンスを加速させ、女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進して参ります。



学祖 吉岡彌生(やよい)先生

Your Attention to Your Own Innovation !

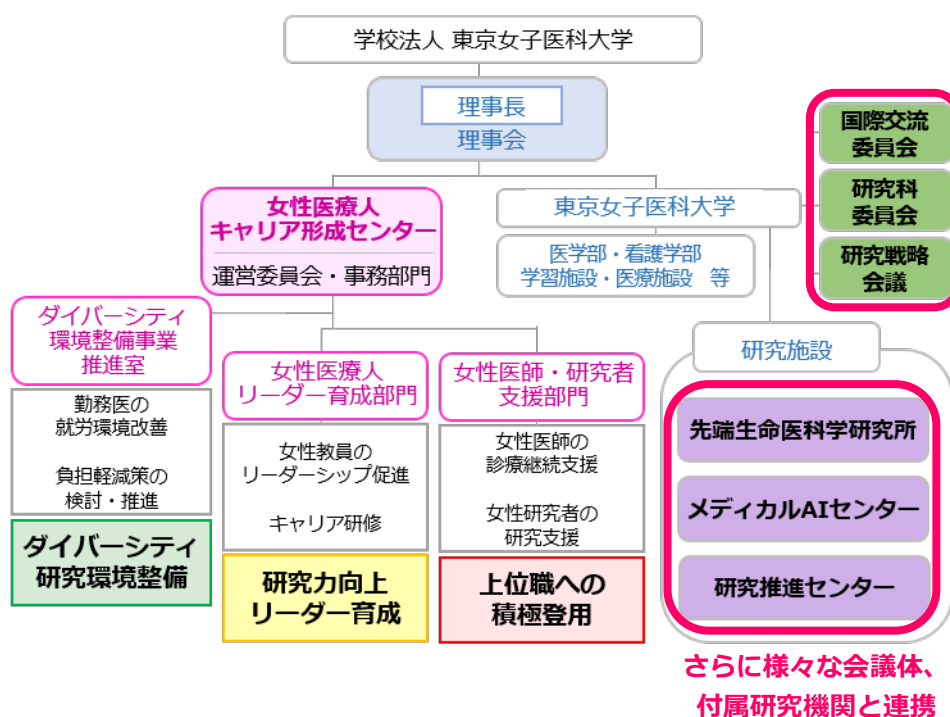


本事業のための体制整備

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担います。事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行います。

女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当します。

「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図ります。



実施概要

上位職への女性の積極登用 (=1)、そのための研究力向上とリーダー育成 (=2)、およびこれらを支えるダイバーシティ研究環境整備 (=3) の3つのテーマについて、6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」のフレームに更なる先端的取組を追加し、それぞれ事業主行動計画、ストラクチャー、プロセス、アウトカムを明確に設定しました (下図参照)。



(1) 上位職への積極登用の取組

①女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進：14 ページ

- ・次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)の裾野を広げるため、学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施
- ・現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※) for 彌生人 (やよいびと)」の開催
※教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞き意見交換を行う場
- ・女性研究者＝メンティが高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンターと当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人 (やよいびと) メンター・メンティ賞」を設立

②学長指名推薦による女性教授登用：17 ページ

- ・学内外の優れた実績をもつ女性教職員を学長指名推薦により女性教授として登用

③オープンイノベーション講演会・交流会：17 ページ

- ・本学先端生命医科学研究所「バイオメディカル・カリキュラム」と連携し、医・工・理の架け橋研究等を紹介する「オープンイノベーション講演会」、新たな研究希望者と既に研究進行中の者とのマッチングの場「オープンイノベーション交流会」の企画・開催

(2) 研究力向上・リーダー育成の取組

①基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援：21 ページ

- ・「グローバル架け橋研究支援」制度の実施
- ・架け橋研究を推進する「架け橋研究指導者」と新たに架け橋研究を希望する者とが意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の実施
- ・「架け橋研究支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

②バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化：22 ページ

- ・「グローバル架け橋研究支援」制度の実施
- ・国際共同研究を推進する「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催
- ・女性研究者の国際学会参加・発表を奨励するための国際学会参加費等補助制度の実施
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助制度の実施
- ・海外の複数の大学との共同研究活性化を目的とした国際研究講演会・交流会の支援
- ・「国際共同研究支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

③保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築：26 ページ

- ・「グローバル架け橋研究支援」制度の実施
- ・AI 研究を推進する「AI 研究指導者」がメンターとなり、新たに AI 研究開始を希望する者に対する「AI インターンシップ」の実施
- ・「AI 研究スタートアップ支援」採択者による成果報告動画の配信
- ・メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

④科研費申請支援関連：27 ページ

- ・科研費セミナーの開催

(3) ダイバーシティ研究環境整備の取組

①学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備：29 ページ

- ・学会等参加時の託児費補助制度の実施
- ・院内保育所（学校法人東京女子医科大学附属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりの安全性検証および利用者数のモニタリングの実施

②実践的介護支援体制の構築：30 ページ

- ・介護見守り支援（ちょこっと介護見守り支援）実施
- ・介護なんでも相談窓口（Google フォーム）実施
- ・介護講演会の開催

③研究支援員制度における対象者範囲の拡大：32 ページ

- ・平成 28(2016)年度（特色型）事業で構築した女性研究者対象の「研究支援員制度(※)」への育児中/介護中男性研究者枠の新設

※応募条件を満たす本学医学部の女性医学研究者が、研究活動上必要な補助業務を行う際に「研究支援員」を 1 名採用できる制度(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

以上のダイバーシティ研究環境整備事業の様々な取組は、女性医師・研究者のみならず全教職員・学生も対象としています。今後もさらに個別の状況に合わせた多角的かつ適切な支援を実施し、広く社会に役立つモデルを構築していきます。

取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載）

東京女子医科大学（先端型）

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：R3年～R8年

【特長】 Your Attention to Your Own Innovation !

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を促進させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

学祖 吉岡雅生(やよい)先生

【実施体制】

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担い、事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行う。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が女性医療人キャリア形成センターの各部門、学内委員会、研究施設と密に連携し各事業の確実な進捗を図る。

さらに様々な会連体、付属研究機関と連携

【取組概要（目標）】

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの元、**学長指名推薦による准教授・講師の昇進昇格、採用を促進**、優れた女性研究者を発掘する。
2. 研究力向上とリーダー育成：**オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援**を行う。異分野を繋ぐ架け橋研究支援、**AIインターンシップ制度、AI研究スタートアップ支援**により女性研究者の研究夢を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンラインを含む学会等参加時の**託児費補助制度、実践的介護支援を新設**する。**研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者に拡大**する。

テーマ

アウタカム

事業主行動計画

中長期ビジョン

上場職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
目標1 女性教授比率30%達成、維持 目標2 介護支援制度利用者比率0.6%		

女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する

【支援内容】研究力向上とリーダー育成の取り組みとして女性研究者を支援します

上位職への積極登用

- ① 女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション 講演会・交流会

研究力向上 リーダー育成

- ① 架け橋研究支援
- ② バーチャル研究交流、国際交流実施
- ③ AI研究 インターンシップ制度

ダイバーシティ 研究環境整備

- ① 託児費用補助制度 休日・育児保育利用者数 モニタリング
- ② 介護支援の実践的援助
- ③ 研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者等)

◆研究支援
① 架け橋研究支援
基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
② 国際共同研究支援
国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
③ AI研究スタートアップ支援
保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援

◆補助制度
① 学会等参加時の託児費補助
② 国際共同研究における英語論文掲載料補助
③ AI講習会、研修会参加費補助

◆ダイバーシティ研究環境整備
① 院内保育所の休日一時預かり保育の整備
② ファミリーサポート体制を活用した“ちょこっと介護見守り支援”
③ 男性研究者のための研究支援員制度利用枠新設

長期継続のための「後進育成」体制の構築

「次世代国際交流指導者」「次世代AI研究指導者」「次世代架け橋研究指導者」

Your Attention to Your Own Innovation !
女性研究者自らイノベーションを志しキャリアアップの基盤を構築
研究資金の獲得能力向上により経済的自立を目指す
苗床を育む

寄附や競争的外部資金獲得のみに頼ることなく
本学の産学連携における運営力を駆使しつつ
企業や団体との契約に基づく確かな外部資金獲得を目指す工夫を実践

研究支援を受けたものは、翌年以降、指導者として後進育成の役割を担う

国際共同研究を活性化
海外の複数の大学と共用できる
研究用デジタルプラットフォームを構築

【これまでの成果】

2016年 文部科学省（JST）ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）採択

特色型による取組により、女性教授比率が上昇
2020年7月に目標である30%を達成

<受賞歴>
2017年 東京都女性活躍推進大賞
2020年 日産財団 第3回リカジョ奨励賞

年度	女性割合	女性	男性	合計
2015.5	20.7%	25	96	121
2016.5	22.2%	26	91	117
2017.5	18.9%	23	99	122
2018.5	24.2%	31	97	128
2019.11	29.4%	42	101	143
2020.07	31.1%	42	93	135
2021.02	30.1%	41	95	136

【お問い合わせ】

機関名：学校法人東京女子医科大学
所在地：東京都新宿区河田町8-1
連絡先：03-3353-8112
(内線30165,30166)
cdc.bm@twmu.ac.jp
HP：http://www.twmu.ac.jp/gender/

女性医療人キャリア形成センター

令和 6(2024)年度活動年表

実施日	内容
令和 6(2024) 年度	
4/1	研究支援制度「グローバル架け橋研究支援」募集開始
	英語論文掲載料補助制度、国際学会参加費等補助制度 受付開始
	国際共同研究指導者による個別相談会 受付開始
	国際的に活躍する研究者等による国際研究講演会・交流会開催支援 募集開始
4/17	第 30 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
4/22	第 1 回介護サポート調整会議（オンライン）
4/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 3 名）
5/17	第 31 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
5/20	彌生人メンター・メンティ賞 募集受付開始
5/21	第 2 回介護サポート調整会議（オンライン）
5/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 2 名）
5/31	第 8 回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加 23 名）
6/9	介護講演会開催（参加 29 名）
6/11	「グローバル架け橋研究支援」面接審査実施
6/13	「グローバル架け橋研究支援」選考会実施、採択者 4 名決定
6/17	第 3 回介護サポート調整会議（オンライン）
6/20	第 32 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	研究戦略会議 WG2・研究推進センターTRC 室主催・女性医療人キャリア形成センター共催 2024 年度 第 1 回科研費セミナー（オンライン/参加 46 名）
	介護サポート・第 4 回提供会員講習会実施（6/20・6/27）
6/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 1 名）
6/26	第 9 回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加 3 名）
7/16	第 4 回介護サポート調整会議（オンライン）
7/18	第 33 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
7/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 2 名）
8/7	彌生人メンター・メンティ賞 選考会実施、受賞者決定（3 組）
8/13	第 5 回介護サポート調整会議（オンライン）
8/14	研究戦略会議 WG2・研究推進センターTRC 室主催・女性医療人キャリア形成センター共催 2024 年度 第 2 回科研費セミナー（オンライン/参加 61 名）
8/20	第 34 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
9/5	第 6 回オープンイノベーション講演会（オンライン/45 名）
9/1	介護サポート通信 vol. 2 号発行
9/17	第 35 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
9/24	第 6 回介護サポート調整会議（オンライン）

実施日	内容
	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 3 名）
10/1	令和 7(2025)年度 女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」募集開始
10/7	「グローバル架け橋研究支援」および「彌生人メンター・メンティ賞」合同授与式開催
10/18	第 36 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
10/21	第 7 回介護サポート調整会議（オンライン）
10/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 2 名）
10/26	介護サポート・女子医大祭出展（ファミリーサポートと合同出展）
11/7	第 8 回介護サポート調整会議（オンライン）
11/13	解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）主催 国際研究講演会開催支援
11/19	第 37 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
11/20	第 10 回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加 47 名）
11/22	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 1 名）
11/27	研究戦略会議 WG2・研究推進センターTRC 室主催・女性医療人キャリア形成センター共催 2024 年度 第 1 回研究費セミナー（対面・オンライン/参加 57 名）
	介護サポート・提供会員スキルアップ研修会
12/2	研究戦略会議 WG2・研究推進センターTRC 室主催・女性医療人キャリア形成センター共催 2024 年度 第 2 回研究費セミナー（オンライン/参加 17 名）
12/17	第 38 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
	第 9 回介護サポート調整会議（オンライン）
1/8	研究戦略会議 WG2・研究推進センターTRC 室主催・女性医療人キャリア形成センター共催 2024 年度 第 3 回研究費セミナー（オンライン/参加 11 名）
1/9	麻酔科グラウンドラウンド「医学界の女性：日本とアメリカにおける女性医師の採用、定着、昇進に関する課題と解決策」共催
1/14	第 10 回介護サポート調整会議（オンライン）
1/17	第 39 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
1/18	麻酔科「International Anesthesia Symposium 2025」共催
1/31	提供会員スキルアップ研修実施（1/31 衛生管理：参加 4 名、2/4 調理実習：参加 4 名）
	令和 7(2025)年度女性研究者を支える男性研究者のための「研究支援員制度」プレゼン・面談審査実施、採択者 1 名決定
2/14	第 4 回介護講演会動画 学内ネットワークにて公開開始
	令和 5(2023)年度研究支援採択者による研究成果動画 YouTube 東京女子医大公式チャンネルにて公開開始
2/17	「第 1 回先端生命医科学センター産学連携フォーラム」共催（対面/参加 65 名）
2/18	第 40 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
2/19	第 11 回ピアラーニング for やよいびと開催（対面・オンライン/参加 3 名）

実施日	内容
2/21	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 2 名）
2/27	第 11 回介護サポート調整会議（オンライン）
3/21	第 41 回ダイバーシティ担当推進者会議（オンライン）
3/24	AI・臨床統計無料相談会 開催（参加 2 名）
3/25	第 12 回介護サポート会議（オンライン）

Ⅱ 事業報告① - 上位職への積極登用 -

女性教授割合の拡大状況

平成 28(2016)年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」では、女性教授率 30%を目標に様々な取組を行い、令和 2(2020)年 7 月に特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。本事業では特命担当教授を含まない「女性教授率 30%の達成と維持」を目標とし、OECD 加盟国に匹敵する女性教授比率の達成を目指します。

【教授の女性割合と在籍数】

		女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.7%	36	99	135
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.2%	34	91	125
	令和 5(2023)年 5 月	29.8%	37	87	124
↓	令和 6(2024)年 5 月	30.5%	36	82	118

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

女性教授比率の向上に加え、次世代の女性教授候補者層を厚くし裾野を広げるためには、女性准教授・講師を着実に育成していくことが不可欠です。優れた女性教員（女性研究者）に対し女性准教授・講師昇進昇格を積極的に実施し、女性教授比率 30%を今後も維持していくために、これまで 30%程度に留まっていた新規採用も含めた女性准教授比率、講師比率をそれぞれ 35%、40%とする目標を設定しました。本学では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として令和 2(2020)年度から教員評価制度が本格的に始動しており、適切な評価体制が整っています。また学祖 吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための組織「女性医療人リーダー育成部門」の本科生・登録生制度構築により、層の厚い人材育成を行ってきたことから、本事業では女性准教授・講師に関する学長指名推薦枠を導入、さらに看護系教育・研究職についても（特任教授、特任准教授に相当する）女性上位職の枠を新たに導入することで、女性教授候補者の層を厚くし、女性上位職の裾野を拡大します。

【准教授・講師の女性割合と在籍数】

		准教授				講師			
		女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
事業開始時	令和 3(2021)年 11 月	26.8%	33	90	123	33.5%	52	103	155
事業開始後	令和 4(2022)年 5 月	27.4%	32	85	117	34.2%	51	98	149
	令和 5(2023)年 5 月	29.7%	35	83	118	35.7%	50	90	140
↓	令和 6(2024)年 5 月	29.8%	34	80	114	34.6%	47	89	136

◆学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイスの実施

「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」演者である現准教授・講師をメンター、参加者をメンティとした個別アドバイスを実施しています。“女性研究者のキャリア形成”や“ライフイベントの乗り越え方”等、ピアラーニングの延長としてメンティの希望するテーマで身近なロールモデルであるメンターと科を越え自由に交流できる貴重な機会となっています。

◆現准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」の開催

特色型で教授昇格を目的として行ってきたピアラーニングの「准教授・講師版」を「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」と称し、様々な分野で企画・開催をしています。この「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」のネーミングは、本学が輩出してきた多くのグローバルヘルスリーダーをロールモデルとし、これを目指す志を持つすべての女性研究者を「彌生人（やよいびと）」と総称することを由来としています。参加者からは、“先輩の姿を見てモチベーションがあがった”、“大変さだけでなく、面白さや頑張れる原動力を教えてもらい、とても前向きな気持ちになった”等の感想が寄せられました。

<ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）実施実績>

	日付	講師	参加者
1	令和 6(2024)年 5 月 31 日	鈴木嵩助教／看護学部	23 名
2	令和 6(2024)年 6 月 26 日	辻真世子助教／内科学（呼吸器内科学）	3 名
3	令和 6(2024)年 11 月 20 日	内田朋子副部長／東京女子医科大学附属足立医療センター 看護部	47 名
4	令和 7(2025)年 2 月 19 日	中山寿子准教授／生理学（神経生理学分野）	3 名

◆「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」の設立

優れた指導の結果、女性研究者＝メンティ（医師・看護師・non-MDを含む）が高インパクトファクターの雑誌に筆頭著者として論文掲載を成し遂げた場合、指導に当たった研究者＝メンター（医師・看護師・non-MDを含む）と当該メンティのメンター・メンティペアを対象として、両者を表彰する「彌生人（やよいびと）メンター・メンティ賞」を設立しました。

【令和6(2024)年度受賞者】

- ・ メンティ：山下沙由里助教／内科学（膠原病リウマチ内科学分野）
メンター：勝又康弘講師／内科学（膠原病リウマチ内科学分野）



- ・ メンティ：堀場綾子助教／内科学（脳神経外科学分野）
メンター：山口浩司講師／内科学（脳神経外科学分野）



- ・ メンティ：矢作綾野助教／解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）
メンター：望月牧子助教／解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）



学長指名推薦による女性教授登用

国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者も含む）の上位職登用を推進しています。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、これまでの「上位職への積極登用」の行動計画ではプラスファクターおよび特命担当教授任命制度により教授昇格者数が大幅に増加しました。女性登用実績の評価方法等も十分検討され既に体制は整っていることから、候補者があれば適宜推薦を実施し、女性教授として登用を進めています。

オープンイノベーション講演会・交流会の実施

リーダーシップを発揮し異分野を繋げて未来の医療を担う女性医療人「彌生人（やよいびと）」の育成には、医・工・理含めた異分野連携、異業種連携の場が不可欠です。本学の医学系・理工系融合研究施設である先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下 BMC）は、学内のみならず外部の企業、研究所、病院、文系大学など異分野・異職種からの参加希望者を対象とした医学全般のリカレント教育コースであり、医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーを融合した新しい先端医療の実現に貢献する幅広い人材育成と研究・開発の実践を目指しています。既に 50 年以上の歴史を持ち修了生は 2000 名を超え、医薬品・医療機器分野の他、化学・材料分野、食品分野、情報・通信分野、出版分野など様々な異分野業界の第一線で活躍する人材を数多く輩出しており、中には女性も含まれています。

本事業では現在活躍中の BMC 修了生（女性を含む）によるオンライン講演会や交流会を実施し、広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進していきます。

◆第 6 回 オープンイノベーション講演会

日時：令和 6(2024)年 9 月 5 日（木）18：00-19：30

方法：オンライン

演者：清水達也所長・教授／東京女子医科大学先端生命医科学研究所

参加者：約 45 名



● 上位職への積極登用の取組 フライヤー

◆ 第8回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第8回
参加無料・事前申込

演者
看護学部 成人看護学 助教
NP(診療看護師)
鈴木 高 先生

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のためのヒントを
探ってみませんか？

- 女子医大を選んだ理由は？
- なぜNP(診療看護師)を目指したか？
- チーム医療の中での役割は？
- 救急医療の魅力とは？
- 研究テーマのきっかけとこれから目指す先

日時 2024年5月31日(金)16:00~17:00

会場 東京女子医科大学 総合研究棟1階 102会議室(オンライン参加も可)

対象 東京女子医科大学に在籍する全ての研究者
● 足立、八千代からのご参加も大歓迎！
● 看護師、学部学生、大学院生、非常勤の方もどうぞ！

お申込み
お問い合わせ 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112(内線 30166)
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

QRコードより
お申し込みください

※イベントは文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究)の一環として実施します

◆ 第9回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第9回
参加無料・事前申込

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のためのヒントを探ってみませんか？

演者
呼吸器内科 助教
辻 真世子 先生

現在に至るまでのお話と、
診療・研究・教育のバランス
やライフイベントとの両立に
ついて、参加者の皆さんと
ディスカッションしていただ
きます！

例えば・・・

- 女子医大でがんばるメリットは？
- 研究を進めるきっかけやターニングポイントは？
- ワークライフバランスについて、
どんな考えをお持ちですか？

日時 6月26日(水)17:00~18:00

会場 東京女子医科大学 総合研究棟1階 102会議室
オンライン参加も可

対象 東京女子医科大学に在籍する全ての女性研究者
学生、大学講師、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

女性医療人キャリア形成センターダイバーシティ環境整備事業推進室

お申込み
お問い合わせ TEL: 03-3353-8112 内線30166
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

QRコードより
お申し込みください

※イベントは文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究)の一環として実施します

◆ 第10回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第10回
参加無料・事前申込

演者
足立医療センター
看護部
内田朋子 副部長

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のためのヒントを
探ってみませんか？

- DNP(Doctor of Nursing Practice)を目指した理由は？
- これまでの臨床経験や研究活動の実績は？
- 研究のモチベーションを支える原動力は？
- ワークライフバランスは？
- これからの看護系研究者に求められる能力は？

日時 2024年11月20日(水)16:00~17:00

会場 東京女子医科大学 彌生記念教育棟1階 104会議室(オンライン参加も可)

対象 東京女子医科大学に在籍する女性研究者を含む全ての研究者、学生、大学院生
● 看護師、非常勤の方もどうぞ！
● 足立、八千代からのご参加も大歓迎！

お申込み
お問い合わせ 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp TEL: 03-3353-8112(内線 30166)
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

QRコードより
お申し込みください

※イベントは文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究)の一環として実施します

◆ 第11回ピアラーニング for やよいびと

Your Attention to Your Own Innovation!

ピアラーニング for やよいびと

第11回

2月19日 水 18:00▶19:00

会場 東京女子医科大学 総合研究棟1階 102会議室
オンライン参加も可

対象 東京女子医科大学に在籍する全ての女性研究者
※学生・大学院生、非常勤の方もどうぞ！足立、八千代からのご参加も大歓迎！

演者
中山 寿子 先生
神経生理学分野 准教授

演者の先生と自由にお話をしながら、
ご自身のキャリア形成のためのヒントを
探ってみませんか？

- アカデミア研究者の生活って実際どうなの？
- ライフイベントとキャリアは両立できる？
- 研究を続ける原動力は？
- 研究継続のために心掛けていることは？

お問い合わせ 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-3353-8112 内線30166
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/>

お申し込み
QRコードまたはURLよりお申し込みください
<https://forms.gle/mxKxSz8u4kz1C5cd8>

事前申込
参加無料

◆令和6(2024)年度彌生人メンター・メンティ賞

プロ・パティ・プロジェクト 推進・実行委員会
YAYOIプロジェクト
Your Success is Our Commitment

彌生人(やよいびと)メンター・メンティ賞 令和6年度 募集中!

メンター

女性研究者の成長を熱心にサポートし、論文執筆や学会発表へと導いた先輩研究者 ※性別不問

指導 後援者 サポート

メンティ

優れた指導により、業績顕著として論文掲載を成し遂げた、又は学会発表を業績顕著として行った女性研究者 ※女性限定

研究業績向上 論文掲載 学会発表

研究費助成 20万円

優れた研究指導の賜。メンティ（後援、指導者、non MDを含む女性研究者）が業績顕著として論文掲載を成し遂げた場合または業績顕著として学会発表を行った場合、指導を行ったメンター（後援、指導者、non MDを含む、性別不問）と当該メンティのペアを表彰し、メンティに対し研究助成を行います。

①応募条件

①メンティ対象者

- 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（教職、非常勤、大学院生は除く）
- 原則として本支援終了後2年間は本学に在籍すること
- 年齢制限なし（ただし45歳程度までの若手女性研究者を優先する）

②メンター対象者

- 東京女子医科大学に在籍する医師等研究者（教職、非常勤、大学院生を除く）

②審査対象（下記の①または②、もしくは両方とする）

①論文：査読のある論文でメンティ対象者が筆頭著者のもの（英文、和文いずれも可）

②学会発表：メンティ対象者が筆頭著者として発表したもの（口頭、ポスター いずれも可）

③応募書類

申請書、履歴書※、業績記録※、論文別冊（当該年度と前年度採択論文のうち1編を審査対象とする）または、学会抄録と発表時のスライドやポスター（当該年度と前年度の学会発表のうちひとつ） ※申請者（メンティ）についてのみの提出

④支援金額および使途

上限金額20万円（メンティに対して授与） ※年度繰り越し不可

使途は研究に直接要する消耗品および研究に不可欠な備品の購入費用とする

⑤募集締切日 令和6年7月15日(金) **⑥募集人数** 若干名

※採択されたペアは様式（別紙）※3枚程度を下記へのご出票をお願いいたします。

応募方法などの詳細

<https://www.aomc.ac.jp/university/dci/gender/news/3932>

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
Mail: rdc_krm@aomc.ac.jp TEL: 03-3203-8112 内線 30246
〒162-8606 東京都新宿区西田町9-2 総合研究棟1階

◆第6回オープンイノベーション講演会

第6回オープンイノベーション講演会

夢と信念 ～医療、食料そして宇宙まで～

講師

東京女子医科大学先端生命医科学研究所
所長・教授 清水 達也 先生

プロフィール

東京大学医学部卒業。
循環器内科医師として勤務後、東京大学大学院にて分子生物学研究に従事。世界初、日本発の細胞シート技術を用いた再生医療研究にて肉眼レベルで拍動する立体心組織作成に成功。立体組織構築技術の再生医療・創薬モデルへの応用に加え、細胞農業（培養肉生産）へ展開も。宇宙におけるライフサイエンス研究も開始している。

日時

2024年9月5日（木）18:00～19:30

■参加費無料

■Zoomによるオンライン開催

■要事前申し込み：QRコードよりお申し込み下さい

■講演後、パネルディスカッションがごさいます。

■ライブ配信のみで、後日の録画配信はありません。

＜お問い合わせ＞
女性医療人キャリア形成センターダイバーシティ環境推進事業推進室
Mail: cdc_fm@tomu.ac.jp
TEL: 03-3253-6112(内線 30406)
本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」の一環として実施します。

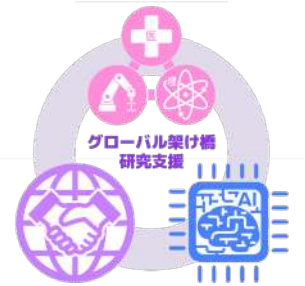
プロ・パティ・プロジェクト 推進・実行委員会
YAYOIプロジェクト
Your Success is Our Commitment

Ⅲ 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -

本学の研究力向上状況

本学女性教職員の科研費応募件数は例年コンスタントに維持されております。本事業では、女性研究者の科研費等競争的研究資金の応募数 30%増、新規採択率 20%増、原著論文等 10%増を目標とし、令和 7 年度科研費において本学女性研究者の新規採択数は 30 件にのぼり、本事業採択時の令和 3 年度 22 件に対して 36%増加し、科研費採択件数 20%増を達成しました。

また事業開始から「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」における 3 分野の研究支援を実施していましたが、令和 6(2024)年度からは「グローバル架け橋研究支援」として領域を限定せず、保健医療分野での研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援しています。



【令和 6(2024)年度グローバル架け橋研究支援採択者】

・加藤環講師／ゲノム診療科

-研究課題名「脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニングにおける重症度予測についての研究」



・吉田杏美助教／先端生命医科学研究所

-研究課題名「創薬モデル確立に向けた折りたたみ式ヒト 3 次元骨格筋組織の作製」



・関桃子助教／内科学（腎臓内科学分野）

-研究課題名「腎性貧血における赤血球寿命短縮の機序について」



・白井陽子助教／腎臓小児科

-研究課題名「抗ネフリン抗体が関与する巣状分節性糸球体硬化症腎移植後再発の病態の解明」



基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援

本学の先端生命医科学研究所では 20 年前より独自の細胞シート工学を開発し、これを幹細胞生物学と臨床工学の架け橋として治療・創薬・疾患研究に応用しています。更には細胞農業を含めた異分野融合研究も始まっており、今後の幅広い展開が期待され既に本学内の医学部学生や若手研究者の注目を集めています。看護学領域においても、基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、本事業では、このような基礎医学と臨床工学の間を繋ぐいわば医・工・理の架け橋研究をスムーズに開始できるスタートアップ支援などの体制を構築し、これに関わる若手女性研究者の増加を促進していきます。本学には臨床工学と医学の先端的研究を行う研究施設として先端生命医科学研究所、メディカル AI センター、研究推進センターがあり、基礎医学系研究室との長年の共同研究実績も数多く、架け橋研究の基盤を有しています。先端技術に関わる研究開発を通じて、女性グローバルヘルスリーダーに欠かせない倫理的・法的・社会的な課題についての知見を深めます。

◆「グローバル架け橋研究支援」制度の実施

架け橋研究スタートを希望する女性研究者を『グローバル架け橋研究支援金』により支援し、架け橋研究の促進と、架け橋研究に関わる若手女性研究者の増加を推進しています。(20 ページ参照)

◆「架け橋研究指導者」による「架け橋研究紹介ツアー」の企画

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。今後は架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の開催準備を進めています。また、架け橋研究担当責任者による勉強会を定期的に開催しています。

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和 3(2021)年度～令和 5(2024)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医科大学公式チャンネルにて公開しています。

URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>



YouTube
東京女子医科大学
公式チャンネル

◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slack による「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約 100 名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

これまで本学医学部・看護学部では国際交換留学が盛んに行われており、世界の多数の大学との国際留学協定のもとで多くの学生を送り出し、また受け入れてきました。COVID-19の影響による海外渡航困難な状況下でも、本学では国際交流委員会が中心となり、海外留学を目指す学生、研究者、医師、看護師を対象に、海外経験を有するまたは海外で活躍中の卒業生や教職員からデジタルプラットフォーム上で経験談を聞き相互交流するプログラム「アナザースカイ」を定期的の実施していました。また看護学部においてはCOIL（Collaborative Online International Learning）を応用した国際教育プログラムが講義の一環として既実践されており、長年にわたり学生交換留学を実施してきた海外の大学とオンライン交流が盛んに行われています。

本事業ではこれら国際交流の効果を研究レベルに拡大し活用するため、海外の複数の大学との共同研究の活性化を目的とした国際研究講演会・交流会を支援し、情報やノウハウを相互に共有して研究効率を上げるためのデジタルプラットフォーム等のシステム構築を目指します。これにより学内の海外留学・国際共同研究経験のある研究者を中心とした新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進め、さらに国際学会参加費・演題登録費や英語論文掲載料の一部補助を行い、研究力向上および上位職登用への促進を図ります。

◆「グローバル架け橋研究支援」制度の実施

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を『グローバル架け橋研究支援金』により支援し、新たな国際研究交流の増加や国際共同研究の活性化を促進しています。（20 ページ参照）

◆「国際共同研究指導者」による新たに国際共同研究を希望する者を対象とした相談会の開催

「国際共同研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担っています。国際共同研究経験者による個別相談会を実施しています。利用者からは「実りある時間でした」「貴重な時間でした」等の感想が寄せられています。

◆国際学会参加費等補助制度の実施

新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めるために、国際学会に参加し、筆頭にて発表した女性研究者に対して、学会参加費・演題登録費の一部補助を行っています。

【支援実績】

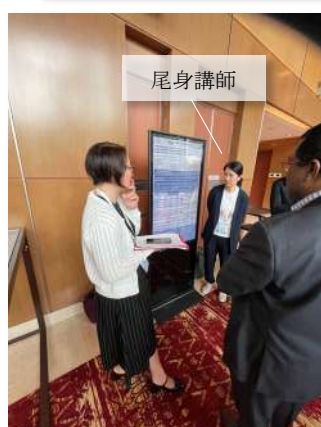
令和 6 (2024) 年度	
尾身葉子講師／内科学（内分泌内科学分野）	
学会名	50th World Congress of the International Society of Surgery
山梨裕希助教／内科学（内分泌内科学分野）	
学会名	50th World Congress of the International Society of Surgery
岩崎恵救急救命士／足立医療センター救急医療科	
学会名	The 15th Asian Pacific Conference on Disaster Medicine
稲野辺奈緒子講師／看護学部	
学会名	28th East Asian Forum of Nursing Scholars
福永寛恵助教／看護学部	
学会名	15th International Nursing Conference, 28th East Asian Forum of Nursing Scholars



山梨助教



岩崎救急救命士



尾身講師



稲野辺講師



福永助教

◆「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度を実施しています。

【支援実績】

令和 6 (2024) 年度	
矢作綾野助教／解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）	
タイトル	Abcb10 regulates murine hematopoietic stem cell potential and erythroid differentiation
誌名	Experimental Hematology
加藤環講師／ゲノム診療科	
タイトル	Analysis of SMN protein in umbilical cord blood and postnatal peripheral blood of neonates with SMA: a rationale for prompt treatment initiation to prevent SMA development
誌名	Orphanet journal of rare diseases

◆国際的に活躍する研究者等による「国際研究講演会・交流会」開催支援

「国際共同研究がしたいけど渡航できない」と諦めている女性医師等研究者に向けて、国際的研究交流や国際共同研究のきっかけづくりとして、また国内・海外で国際的に活躍する女性研究者等とのネットワークを構築し、新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進めることを目的として、国際的に活躍される研究者を演者として招聘した講演会や交流会の開催に対し、開催支援（謝金支援）を実施しています。令和 6 (2024) 年度は石津綾子教授・基幹分野長（顕微解剖学・形態形成学分野）主催によるコロラド大学 Patricia Ernst 先生のご講演を支援しました。



←左から
本田所長・教授（本学実験動物研究所）、Patricia Ernst 先生、石津教授

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和3(2021)年度～令和5(2024)年度本支援採択者による研究成果報告動画をYouTubeの東京女子医科大学公式チャンネルにて公開しています。

URL：<https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>



YouTube
東京女子医科大学
公式チャンネル

◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slack による「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約 100 名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。

保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業においては、本学卒の女性研究者が、令和 2(2020)年度の研究支援員制度を活用し AI 研究を開始するなど、学内では医療 AI 研究の機運が高まっています。AI 研究への若手女性研究者参画をこれまで以上に促進するため、本事業では学内外の研究者に AI 活用の基本を学修する機会や実際の AI 開発の現状を習得する機会を豊富に提供し、女性研究者の学内外における AI 研修、講習会参加を支援します。また医療 AI 研究に特化した学内研究施設であるメディカル AI センターにおいて、新たに AI 研究インターンシップ制度を構築し、学内外の様々な保健医療分野で活躍する女性研究者が AI 研究を開始できるようスタートアップ支援を行います。

◆「グローバル架け橋研究支援」の実施

AI 研究を開始する女性研究者を『グローバル架け橋研究支援金』により支援し、保健医療分野における AI 研究を増加・促進します。(20 ページ参照)

◆「AI 研究指導者」による「AI インターンシップ制度」の構築

「AI 研究」を促進するため、研究支援採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担い、本学「メディカル AI センター（以下、MAC）推進会議」にて、AI 研究指導者を含む AI 研究者による研究紹介・勉強会を実施しています。また本事業主催による AI・臨床統計無料相談会を定期開催し、多くの女性研究者が参加しました。

◆研究支援採択者による成果報告動画の配信

令和 3(2021)年度～令和 5(2024)年度本支援採択者による研究成果報告動画を YouTube の東京女子医科大学公式チャンネルにて公開しています。

URL : <https://www.youtube.com/@TokyoWomensMedicalUniversity>



YouTube
東京女子医科大学
公式チャンネル

◆メーリングリストによる研究希望者への情報発信ならびにコミュニケーションツールによる研究者同士の意見交換の場の活性化

研究希望者への情報発信ツールとして、「YAYOI プロジェクト情報発信メーリングリスト」を発足し、学内研究者からの登録を受け付けています。YAYOI プロジェクト主催セミナーや各種支援制度の案内の他、研究者に有用な外部セミナーや研究助成金情報等を配信しています。

また女性研究者の育成、研究力向上、共同研究の促進・活性化を目的とした研究者同士の「開かれた情報交換の場」として、Slack による「YAYOI コミュニティ」を開設、現在約 100 名の研究者が登録し、科を越えた交流の場となっています。

科研費申請支援

令和7年度科研費の本学女性研究者新規採択数は30件にのぼり、本事業採択時の令和3年度22件に対して36%増加し、本事業のアウトカムである科研費採択件数20%増を達成しました。

◆科研費採択率向上のための申請書レビュー実施・研究費セミナー開催

競争的研究費申請支援事業の一環として、本学URAによる調書改善支援を実施。また本学研究戦略会議・研究推進センターTRC室と共催で以下の研究費セミナーを開催しました。

【科研費セミナー】

- ・第1回科研費セミナー「学内支援メニューを利用した採択者たち」
日時：令和6(2024)年6月20日（木）17:00～18:30（オンライン）
参加者：46名
- ・第2回科研費セミナー「コツさえ分かれば意外と書ける科研費申請書」
日時：令和6(2024)年8月14日（水）17:00～18:30（オンライン）
参加者：61名

【研究費セミナー】

- ・第1回研究費セミナー「AMED：事業説明と申請におけるポイント、学内現況/獲得支援案内」
日時：令和6(2024)年11月27日（水）17:00～18:00（ハイブリッド）
参加者：オンサイト参加者27名・オンライン参加者30名
- ・第2回研究費セミナー「AMED：基礎研究（病態解明）を対象とした申請書レクチャー」
日時：令和6(2024)年12月2日（月）17:00～17:45（オンライン）
参加者：17名
- ・第3回研究費セミナー「AMED：医師主導治験を対象とした申請書レクチャー、治験管理室からのご案内」
日時：令和7(2025)年1月8日（水）17:00～18:00（オンライン）
参加者：11名

● 研究力向上とリーダー育成の取組 フライヤー

◆令和6(2024)年度研究支援

本支援事業は文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」の一環として実施します
Your Attention to Your Own Innovation!

令和6年 グローバル架け橋研究支援 公募

例) 基礎医学と臨床工学をつなぐ医・工・理の架け橋研究
例) 研究交流の増加、共同研究活性化のための国際共同研究
例) AI研究推進のためのAI研究スタートアップ など
※分野は問いません

応募条件(対象者)

- ◆東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(教授・非常勤・大学院生除く)
- ◆原則として本支援終了後2年間は本学に在籍し後進育成の推進者として活動できる者。
- ◆応募には所属長の許可を必要とします。
- ◆年齢制限はありませんが、45歳からいまでの若手女性研究者を優先します。
- ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。
- ◆1人につき1件のみの応募とします。
- ◆(学内外的な共同研究のみ)海外の研究者(国籍・性別問わず)と共同研究を進行している方

応募書類

①履歴書 ②支援申請書 ③業績目録
※応募書類の形式はHPよりダウンロードして下さい。(下記QRコード参照)

支援金交付までの流れ(予定)

4月初旬から5月末 学内公募、応募書類受付
6月 審査委員会による審査会(第1回)開催
7月 審査結果通知、支援金交付開始

お問い合わせ
下記のQRコードからお問い合わせ下さい。
メールにて回答致します。

＜お問い合わせ＞
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-3552-8112(内線 30166)
https://www.wmu.ac.jp/university/cdc/gender/

募集締切
令和6年
5月31日(金)

支援額
一人当たりの上限金額
40万円(年度繰り越し不可)

募集期間
若干名

文芸学・理学
基本的に本研究に直接要する消耗品の購入
消耗品以外購入は事前に事務局へ連絡必須
学内参加費用及び旅費は対象外とする

募集期間
研究支援金交付後～令和7年3月31日

お問い合わせはこちら

応募書類はこちら

◆令和6(2024)年度補助制度

令和6年度
ダイバーシティ補助制度
対象者募集中!

令和6年度受付締切
令和7年2月7日(金)

文部科学省令和6年度科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」の一環として、引き続き補助制度を実施します。

対象者 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(ただし教授、非常勤、大学院生を除く)

2つの補助制度!

国際学会参加費等補助
国際共同研究の成果もしくは国際共同研究に参画している成果として、国際学会に発表を申し、筆頭著者として(口頭発表(口頭、ポスター等形態問わず))したものに、対して、学会参加費・旅費等の一部補助を行う

英語論文掲載費補助
国際共同研究の成果、もしくは国際共同研究に参画している成果として国際学術誌に掲載された英文論文(査読あり)に対し、掲載料(論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等)を補助

応募条件 本学に在籍する女性医師等女性研究者(ただし教授、非常勤、大学院生を除く)で、自身が主たる筆頭著者として参画する場合に限る。
・他の研究費や医務費等が認められないもの。(重複不可)
・オンライン参加の場合、開催地が日本国内の場合に限り対象とする。

対象となる論文 ①「Web of Science」に登録されている査読付き学術雑誌に掲載が決定した原稿論文、総論(学会発表、査読あり不可) ② 海外学術誌に掲載する者(査読・査読あり不可)が掲載者として提出し提出するもの ③ 令和6年4月1日～令和7年1月末日までに掲載料を支払ったもの

補助金額 1件につき学会参加費・旅費等 上限10万円

補助金額 1件につき上限10万円

※応募条件や申請方法は各QRコードをクリック先ページで、センターのウェブページでご確認ください

「YAYOIプロジェクト」メンバー登録募集中!
YAYOIプロジェクトで研究活動やセミナーなどの機会を創出します。
対象: 東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者
(医師以外の研究者、看護職、医学生、大学院生等を含む)

Docxを利用した「YAYOI」募集中!
本学が創出した研究活動の成果、研究の力、共同研究の成果などのための「開かれた情報交換の場」です。研究費助成や教育、研究、教育に活用してください。(2024年)

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL: 03-3552-8112 (内線30166) MAIL: cdc_bsm@wmu.ac.jp

◆国際共同研究・留学個別相談会

グローバルヘルスリーダー育成と変える女性医療
YAYOIプロジェクト
Your Attention to Your Own Innovation!

国際共同研究・留学 個別相談会

国際共同研究推進者にもっと相談できる!

下記いずれかの先生にご相談できます(※予約制)

- ◆石津 綾子 教授・基幹分野長(詳細研究、基礎医学研究、生命科学)
- ◆中山(河村) 寿子 准教授(神経生理)
- ◆岡本 祐子 講師(リウマチ学、免疫学)
- ◆田中 幸子 助教(社会疫学/健康行動学、熱帯医学)
- ◆望月 敦子 助教(血液・造血分野)
- ◆白井 陽子 助教(腎臓病、小児科学)
- ◆矢作 綾野 助教(造血、免疫学)

**1歩踏み出す
チャンスe支援**

対象者 本学に在籍する女性研究者(大学院生も大歓迎!)

実施フロー

- ①下記QRコードより、申込みフォームを事務局へ送信
- ②ご希望のアドバイザーと調整の上、個別相談会の日時・場所決定
- ③個別相談会実施

お申込はこちら

https://forms.gle/2Zm8RZ21ndv8Q97
(QRコードをスマホのカメラで読み取り、お申し込みください)

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター
TEL: 03-3552-8112(内線30166)
https://www.wmu.ac.jp/university/cdc/gender/

◆AI・臨床統計無料相談会

文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先導型)」
グローバルヘルスリーダー育成と変える女性医療
YAYOIプロジェクト
Your Attention to Your Own Innovation!

女性医療人キャリア形成センター主催

令和6年度 AI・臨床統計 無料相談会

・お手持ちのデータのAI活用方法がわからない
・臨床データの蓄積があるが、適切な統計手法がわからない
そんな方のために、無料相談会を実施します

相談無料

事前予約制
事前にメールにてご連絡いただき、日程調整の上、ご参加いただけます。
※先着5名様まで

専門家による個別相談
相談内容に合わせて、AIもしくは医療統計の専門家をご相談内容に对应させていただきます。

ZOOMオンライン開催
Zoomによるオンライン開催のため、会場にいく必要はございません。

開催日時 対象: 本学所属の女性研究者(医師・看護職・その他non-MD・院生含む)。

下記日程の16時から19時まで(お時間はご相談に応じます)

2024年	4月24日(水)	5月24日(金)	6月24日(月)	7月24日(水)	9月24日(火)	10月24日(木)	11月22日(金)
2025年	2月21日(金)	3月24日(月)					

AI・臨床統計無料相談会へのお申込み
・株式会社ステージン(担当: 熊坂)
※お問合せはメールでご連絡ください。
・メールアドレス: asc@stagen.co.jp

Ⅳ 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -

本学の研究環境整備状況

平成 28(2016)年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）における様々な取組により育児支援を含む種々の研究環境整備を推進してきました。特に「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による信頼度の高いきめ細やかな子育て支援は、全国に大きな社会的波及効果をもたらしています。

本事業では、更なる育児支援として学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備と、「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を実施しています。また同じく特色型事業で構築した研究支援員制度の利用対象者範囲をこれまでの女性だけでなく男性にも拡大し、更なる研究環境整備を図ります。

学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備

若手研究者の良い発表機会である学会の地方会や研究会などは土日祝日に実施されることが多く、比較的規模の小さい学術集会では託児サービスが用意されていないことも多々あります。また、国際学会や在宅オンラインで参加可能な学会では託児サービスの利用が難しく、参加の障壁となっています。そこで本事業では、託児サービスのない学会（地方会・研究会）、研修会、国際学会など（オンライン含む）に参加する際の託児費用の補助、更に本学施設内の院内保育所における土日祝日を含めた一時預かり保育制度の整備を進めています。

- ◆院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）におけるモニタリング調査の実施
保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のために院内保育所の ICT 環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供しています。

また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を定期的に行い、状況に応じた保育の提供を検討しています。

実践的介護支援体制の構築

特色型では本学教職員がキャリアと介護を両立し活躍することができる環境整備を目指し、キャリアと介護の両立ハンドブック配布、介護相談窓口設置等に取り組んでいましたが、令和3(2021)年度に本学全教職員を対象に実施した「介護に関するアンケート調査」の回答からは介護に対する不安を訴える声が非常に多く、同時に仕事と介護の両立を望む声が大多数である、といった現状が明らかになりました。また一方で「本学の介護支援制度を全く知らない」との回答も多数ありました。

本事業では介護支援制度利用者比率をこれまでの約0.3%から0.6%へ引き上げることを目標に、新たな施策と共に介護支援制度を周知した結果、令和5(2023)年度の本学の介護支援制度利用者比率は1.021%まで伸びました。今後はさらに引き上げ、女性研究者が安心して研究により専念できる環境を整備していきます。

◆介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の実施

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年4月より開始しました。

この「ちょこっと介護見守り支援」は、国や自治体といった行政による介護支援とは異なり、まだ本格的な介護は必要としないけれど、独りにしておくのはご家族から見ると不安がある、という「ちょっとした見守り」を必要とされる女子医大教職員のご家族を対象に、例えばお食事の見守りや外出時の付き添い、話し相手などの「ちょこっと」した見守り支援を実施しています。

現在では16名の提供会員が誕生し、各提供会員の特性に合った役割分担で支援を行っています。また提供会員向けにスキルアップ研修会や茶話会を開催し、支援時の注意事項や情報共有を行っています。

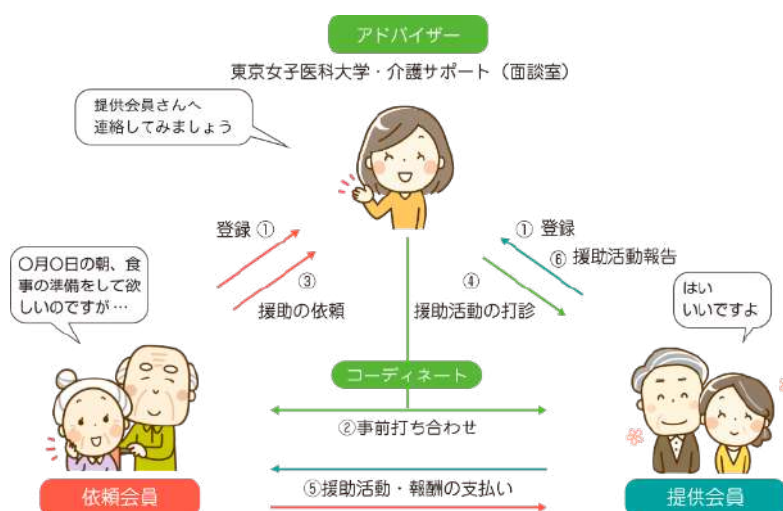
【提供会員スキルアップ研修会の様子】



【女子医大祭ブース出展の様子】



【東京女子医科大学・介護サポートのしくみ】



活動日	活動時間帯		時給
月曜日から金曜日	基本時間	9:00～17:00	1,000 円
	基本時間外	7:00～9:00 17:00～19:00	1,100 円
土・日・祝日	基本時間	9:00～17:00	1,100 円
	基本時間外	7:00～9:00 17:00～19:00	1,200 円

- ・提供会員が自宅を出てから帰宅するまでの時間（活動時間）が報酬額に加算されます。
- ・活動は午前7:00 から午後7:00 までです。
- ・最初の1時間を過ぎ延長した場合は延長料金を30分単位で算出します。
- ・必要な場合、交通費の実費をいただきます。
- ・年末年始はお休みとさせていただきます。（12月29日～1月4日）

《登録希望・お問い合わせ》
東京女子医科大学・介護サポート
TEL：03-5312-5206（直通）

◆介護なんでも相談窓口 (Google フォーム) 実施

本事業の一環として、本学教職員を対象とした「介護なんでも相談窓口」(Google フォーム)を開設しています。実際の介護の困りなどはもちろん、具体的ではないけどちょっと聞いてみたいということまで「なんでも」相談可能です。女性医療人キャリア形成センターが窓口となり、本学常駐のアドバイザーと一緒にどのようにお力になれるか検討し、必要に応じて関連部署とも連携して対応しています。

◆介護講演会の開催

介護を身近に感じる機会を提供する為、介護講演会を開催しています。

・第四回 介護講演会 (学内ネットワークにて動画配信)

・講演テーマ①:『介護と仕事の両立(総論)』

演者: 横田仁子准教授/保健管理センター、女性医師・研究者支援部門運営委員

・講演テーマ②:『文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)「YAYOI プロジェクト」で推進している介護支援事業』

演者: 本多祥子准教授/解剖学 (神経分子形態学分野)、ダイバー環境整備事業推進室長

・講演テーマ③:『仕事と介護の両立支援制度 介護休業と介護休暇について』

演者: 人事課担当者

・講演テーマ④:『「ベネフィット・ステーション」の介護関連サービス』

演者: 株式会社ベネフィット・ワン担当者

研究支援員制度における対象者範囲の拡大

特色型では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や、これまでに十分な実績がある将来有望な女性研究者を支援し、研究活動をより活発にするため、研究者1名に対して支援員1名分の人件費を女性医療人キャリア形成センター基金等から拠出する「研究支援員制度」を創設しました。

本事業では、女性研究者に加え、女性研究者を支える男性研究者1名の支援枠を新たに設け、男性研究者を支援しています。(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

● ダイバーシティ研究環境整備 フライヤー

◆ 介護支援



◆介護サポート通信

東京女子医科大学・介護サポート <http://www.kaigo-support.bm@wmu.ac.jp>

介護サポート通信

発行：東京女子医科大学・介護サポート（編集：NPO法人介護サポート・福祉センター）
〒152-8580 東京都目黒区目黒3-1-1 東京女子医科大学 23号学生自治会館介護サポート
TEL: 03-5312-5206 FAX: 03-5312-5207

vol.03

10月1日 発行

2024

「介護漫談」開催される

講師 田辺鶴英氏講演会
「介護について楽しく学ぼう!!」

6月10日(日)ホテルローズガーデン新宿にて講師田辺鶴英さんの講演会を開催しました。田辺さんは母親、義父、夫など5人の介護をし、自身の体験や経験に基づいた介護の行いについて誰もが他の人の手を借りながら乗り越えて行くことの大切さを講話の形で明るく、楽しくお話を伺うことができました。講演会には30名の多くの方に参加いただき、その後参加者との相談会を開催いたしました。




田辺鶴英氏
相談会の様子



参加者たち

アンケート結果をご報告いたします。

21名の方に回答いただきました。

- ・満足度16名 満足4名 未記入1名

<感想>

- ・実際に長年ご経験されていた方の本書、漫画、ユーモア、愛、特にビデオでのやり取りは、とても参考になりました。
- ・介護のイメージは向き合い方ひとつと気付かせて頂きました。
- ・映像での介護の紹介は驚きました。介護は大変というだけでなく、楽しさ、発見、発見、発見が新鮮でした。介護で悩んでいる方にもいいと思います。
- ・私は高齢相談窓口でケアマネジャーとしております。新しい反面、とても辛い事、今更にはカスハラを受ける事もありましたが、今日のお話を聞いて楽しく仕事が出来るようになりました。最高の出会いがありました。
- ・「終末期にたどり着く介護」との質問に「いつも通りに接して欲しい」と印象的でした。

～

介護サポート・ちょこっと介護・見守り支援

4月からの相互援助活動に関わってくださった方のインタビューをしました。

<依頼会員 A様の声>

私が女子医大の介護サポートのシステムを知ったのは、大学から職員に配属されたガイダンス「介護のロードの歩き方」がきっかけでした。ゆくゆく介護が必要になるだろうと思っていたところ、女性医学生キャリア形成センターからお知らせがあり、介護講座や動画を見る機会がありました。そしてそれを通して私が学んだことは、「どうやら頼れるものは頼って早いほうがいいらしい」ということでした。

私は70代後半の母がおり、月1回は女子医大病院に通院していますが、しかし、近所のスーパーや駅で歩けなくなってきたり、転倒したりすることが増えてきました。介護保険を申請すると、母は「妻生活」と認定されました。これで一人で外出できなくなりました。

病院の付き添いをお願いしていたのは女子医大の介護サポート「ちょこっと介護見守り支援」に相談したところ、アドバイザーより提供員を紹介していただくことが、結構大変な時には、アドバイザーさんにもお礼の上システムの説明や確認をしっかりとさせていただきました。それ以降の受診時には毎回提供員さんに付き添いをお願いしております。

母は、提供員さんとの会話が、楽しいようです。私が「タピオカと南蛮に漬物ながら付き添い」をしていますが、母は私に感謝します。ですから、介護サポート利用は私にとってお気に入りの活動だと思っています。

また、今母が家は、病院の付き添いをお願いしたばかりで、母も家族以外に頼って多忙なもう一つのことを受け入れやすくなったと思います。

さらに、この段階で手助けを頼られたことで、これから起こるシニアな状況を少しは先読みすることができているように思います。

今後、さらに寄り添って支えることが増えていくと思いますが、

「頼れる場所・手先」があるのは心強い限りです。

今後も頼れるものは頼って、早めに動いていこうと思います。



<依頼会員 B様の声>

東京女子医科大学介護サポートを利用しています。

この度、80歳を迎えた一人暮らしの母親が介護の準備を受けることとなり、お世話になりました。利用の準備であったため、果たして今まで普通に生活していた日常の家事などがどの程度出来るのかどうか、退院にあたり本人も非常に不安を抱えていました。家事は毎日のことなので、事前にも介護認定を受けていた介護保険サービスだけでは対応が難しい状況でした。

そんな中、東京女子医科大学介護サポート担当者の方が親身に相談に乗ってくれて、何人かの提供員さんに声をかけて毎日地味なサポートを受けられる体制を作ってくれました。提供員さんそれぞれの方にはそれぞれ得意分野があり、家事が得意な方や掃除が得意な方、など事案に多種多様で、全員が一堂に会してどのようなスケジュールで誰が何をやるか決める時も、各提供員さんの個人の特性に合った役割分担と可能な範囲で一週間の予定を立ててくださるサポートが充実していました。母も、「今日はだれだれさんのお料理が食べられる日だね」、「今日はお掃除で綺麗になったわねいっや」、と曜日ごとに提供員さんの方からいっしょの楽しみをいかにしていただけたこと、おかげさまで、その後母も退院に際して自分の出来る範囲も分かってきて、家事に自分の日常生活に戻ることが出来ました。何かあったときにはぜひまたお世話になりたいと思います。ありがとうございました。

～

第4回提供会員講習会開催報告

令和6年6月20日(木)・27日(木) 東京女子医科大学 総合研究棟 302会議室をお借りして開催されました。

講師に社会福祉法人・福祉会 光恵会長の奈良高志先生をお呼びし

- 1日目：午前「福祉の制度とサービス」について
- 2日目：午前「利用者の権利」について

講習会では資料配布及びスクリーン投影にてご教示を頂きました。

また、補講の部分は、ロールプレイも取り入れ実践形式で学びました。

- 2日目：午後「福祉用具への理解」については、正しい操作方法を始め2人ひと組になり手引きによる「楽い楽い型の介助方法」の実践を学びました。

受講者の感想

- ・より具体的に説明されて、とても分かりやすかった。
- ・支援の基本視点、対象者を理解するために大切なことが理解できました。
- ・言葉遣いコミュニケーションを普段から心がけたい。
- ・高齢者の特性、認知症の理解を学び認知症の予防(フレイル)の大切さを学びました。
- ・親の介護をしていて改めて確認できた事、初めて知る事が多くあり勉強になりました。
- ・先生のお話はとても聞きやすく、分かりやすくてもっと広い分野のお話も聞いてみたいと思いました。

提供会員数は7名健えんべ22名となりました。

「困ったときはお互い様」

介護サポート・援助内容について

- ① 食事の準備や後片付け
- ② 部屋の清掃や衣類のたづね
- ③ 通院時や買い物時の付き添い
- ④ 病院等への車の受け取り・受け付け ほか

※介護保険適用外・身体介護は除く

『ちょこっと介護見守り支援』

こんな状況に悩んでいます。



～

イベント情報

提供員さん向け
スキルアップ研修会

・日時：11月27日(水) 10:00～12:30 (9:30受付)

・場所：東京女子医科大学 総合研究棟3階302会議室

・テーマ：事例検討で学ぶ「ちょこっと介護の実際」

～ マチンゲン～事例検討を合わせ～支援～

実践から学ぶ：支援経験者から活動体験談を聞く(非公式形式で和んだ形)

ご参加お待ちしております。

東京女子医科大学・介護サポート(面談室)

●受付時間：月・火・木曜日 9:00～17:00 直通電話：03-5312-5206 fax: 03-5312-5207

<http://www.kaigo-support.bm@wmu.ac.jp>



介護サポート ホームページはこちら

～

◆第一回～第三回介護講演会

第一回～三回介護講演会 動画公開（BOX）のお知らせ

第一回～三回介護講演会の動画をBOXで公開中です。
BOXにログインしていただくと全教職員どなたでも
ご視聴いただけます。是非ご覧ください。

<https://twmu.box.com/s/iz3jci84n36u8a4o7pxcs1p2l7w0cm60>

第一回介護講演会 2023年2月9日開催
講師：脳科学者 恩蔵絢子先生
講演内容：「脳科学から見た認知症」

第二回介護講演会 2023年7月21日開催
講師：株式会社ベネッセシニアサポート 井木みな恵氏
講演内容：「介護にかかるお金の考え方」

第三回介護講演会 2023年11月6日開催
講師：株式会社あおいけあ 加藤忠相氏
講演内容：「小規模多機能型居宅介護」や「グループホーム」等について

問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター
<E-Mail> cdc.bm@twmu.ac.jp
<Tel> 03-3353-8112(内線) 30166

本事業は令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施します

◆第四回介護講演会

令和6年度 第4回介護講演会 動画公開のお知らせ

令和6年度 第4回介護講演会の動画を新たにBOXで公開しました。
第1回～第3回の動画とあわせてご覧ください。

<https://twmu.box.com/s/iz3jci84n36u8a4o7pxcs1p2l7w0cm60>

- 介護と仕事の両立（総論）**
「介護と仕事の両立支援が必要となる社会的背景について」
女性医療人キャリア形成センター 女性医師・研究者支援部門運営委員
保健管理センター 准教授 横田仁子先生
要介護者の増加 地域包括ケアシステム 介護離職の現状と課題
- 文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）「YAYOIプロジェクト」で推進している介護支援事業**
「「ちょこっと介護見守り支援」「介護なんでも相談窓口」について」
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長
解剖学(神経分子形態学分野) 准教授 本多祥子先生
YAYOIプロジェクト ちょこっと介護見守り支援 介護なんでも相談窓口
- 仕事と介護の両立支援制度 介護休業と介護休暇について**
「人事課への必要手続について」
人事課 介護休業 介護休暇 その他の制度
- 「ベネフィット・ステーション」の介護関連サービス**
「福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」における介護関連サービスの紹介・利用方法」
教職員であれば誰でも利用できます！！
株式会社ベネフィット・ワン 介護補助金制度 介護関連のサービス 利用方法・その他

問い合わせ先 女性医療人キャリア形成センター
Mail: cdc.bm@twmu.ac.jp Tel: 03-3353-8112 (30166)

本事業は令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施します

◆院内保育所利用者アンケート調査

保護者の皆様へ

やよい保育園利用者アンケート調査へのご回答について（お願い）

平素より、本園の保育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

東京女子医科大学ではこのたび令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境整備事業（先端型）」に採択され、取組の一つとして保育制度の整備を実施する運びとなりました。

つきましては、やよい保育園では保育園より利用しやすいまた安心してご利用いただくために、利用者の方のご意見を伺い、保育園の運用の改善を図っていくことを目的に毎月アンケート調査を実施することとなりました。

ご多用のことは存じますがアンケート調査へのご協力のほどお願い申し上げます。なお、本アンケートの回答は自由意志で無記名です。アンケートへのご回答によってご回答者の方に不利益を生じることはありません。

【回答期間】毎月10日まで
【所要時間】2-3分程度
【回答方法】下記ウェブサイトからご回答をお願いします。
<URL> <https://forms.gle/VcnpWoZ3TuY173UY6>
<QRコード> 

本件のお問い合わせ先
ダイバーシティ環境整備事業推進室
担当：下村 優希
内線：30166
メール：cdc.bm@twmu.ac.jp

◆女性研究者を支える男性研究者のための研究支援員制度

2025年度 女性研究者を支える男性医学研究者対象 研究支援員制度 利用者募集のお知らせ

募集期間
2024年10月1日～
2024年11月29日（必着）

研究支援員制度
研究者の指示の下で研究の補助作業を行う「研究支援員」を研究者1名につき1名配置することができます。
配置できるのは1日4時間×週4日（16時間）が上限です。
支援員の人員費は女性医療人キャリア形成センターが負担をします

応募対象者
子育て・介護等で時間の確保が難しい
本学常勤の男性医学研究者（准教授以下）のうち
・配偶者が大学等の研究機関に常勤している研究者
またはフルタイムで就業している者
・単身者または配偶者がいない者

応募方法その他
女性医療人キャリア形成センターのHP上にある
募集要項をご覧ください
（右記QRコードから閲覧可能です）


問合せ先
女性医療人キャリア形成センター 女性医師・研究者支援部門
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
MAIL: cdc.bm@twmu.ac.jp
URL: <https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/w-support/>

本事業は令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」の一環として実施します

V その他の活動

◆全国ダイバーシティネットワークへの参画

文部科学省と連携して女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む諸機関をつなぐ「全国ダイバーシティネットワーク」の東京ブロックに参画し、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開を図ることを目的とした活動を行っています。

◆学外講演

- ・第 56 回日本医学教育学会大会（令和 6(2024)年 8 月 9 日）

講演内容：「東京女子医大における教職員のための介護支援事業」

講演者：本多祥子准教授／解剖学（神経分子形態学分野）、ダイバーシティ環境整備事業推進室長

- ・第 22 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム（令和 6(2024)年 10 月 12 日）

講演内容：「女性医師・研究者の上位職登用 研究力向上とダイバーシティ研究環境整備」

講演者：本多祥子准教授／解剖学（神経分子形態学分野）、ダイバーシティ環境整備事業推進室長

- ・第 83 回日本脳神経外科学会学術総会（令和 6(2024)年 10 月 18 日）

講演内容：「東京女子医科大学における医師の働き方改革(TOMOE project)」

講演者：石黒直子教授・基幹分野長／皮膚科学（皮膚科学分野）、女性医療人リーダー育成部門長

- ・第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会（令和 6(2024)年 11 月 16 日）

講演内容：「東京女子医科大学における医師の働き方改革(TOMOE project)」

講演者：石黒直子教授・基幹分野長／皮膚科学（皮膚科学分野）、女性医療人リーダー育成部門長

- ・第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会（令和 6(2024)年 11 月 16 日）

講演内容：「女性医師・研究者支援（東京女子医大の取組）」

講演者：本多祥子准教授／解剖学（神経分子形態学分野）、ダイバーシティ環境整備事業推進室長

- ・第 62 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会（令和 7(2025)年 2 月 8 日）

講演内容：「女性医療人のさらなる飛躍を推進するために」

講演者：佐藤麻子特任教授／臨床検査科、女性医師・研究者支援部門長

<お問い合わせ先一覧>

●育児について (29 ページ)	ファミリーサポート室	人事課(院内保育所)
	03-5369-9075 または 03-3353-8112(内線 41152)	03-3353-8112 (内線 30114 または 30115)
	河田町 巴女子学生会館1階	河田町 総合研究棟 1 階 事務局内

●介護について (30 ページ)	介護サポート	人事課(介護相談窓口)
	03-5312-5206 または 03-3353-8112(内線 41361)	03-3353-8112 (内線 30112 または 30113)
	河田町 巴女子学生会館 3 階	河田町 総合研究棟 1 階 事務局内

●上記以外の ダイバーシティ事業に ついて	女性医療人キャリア形成センター	センターHP 
	03-3353-8112(内線 30166)	
	cdc.bm@twmu.ac.jp	
	河田町 総合研究棟 1 階	

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和6年度報告書

発行	令和7(2025)年7月
編集	ダイバーシティ環境整備事業推進室 (女性医療人キャリア形成センター)
MAIL	cdc.bm@twmu.ac.jp
URL	https://www.twmu.ac.jp/university/cdc/gender/



学校法人 東京女子医科大学

女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号

TEL : 03-3353-8112 (内線 30166)